

【第1号議案】

2017年度
特定非営利活動法人
まちづくりネット東近江事業報告書（案）

2017年4月1日～2018年3月31日

2017年度特定非営利活動法人まちづくりネット東近江事業報告（案）

新たな拠点も2年目を迎え、この場を知る方々も増えてきた。今年度、様々な事業を開催するなか新たな市民とのつながりが広がった。施設への訪問者も1202名と昨年よりわずかだが増え、拠点があることの良さを感じる。また、情報誌にじまちの取材やこらぼ村の参加をきっかけに関係性が大きく広がる事例が増えた。

これまで目指してきた認定NPO法人取得については2018年3月15日に認定された。また、会員拡大を目指し、50人近い方々を仲間に迎えることで、今後の活動の広がりに期待を持てることとなった。

＜つながる＞

- ・4回目のわくわくこらぼ村では、「わくわく夢プラン」という、新たなコラボ企画に取り組んだ。説明会で決まった3団体が企画作りワークショップでポスターの作成を行った。時間制限もある中で、それぞれの団体が工夫された企画を作り、こらぼ村でプレゼンを行ったが、急な提案でも受け止める東近江の市民力の高さを知ることとなった。
- ・「ええより」は、消費者が学ぶ機会として「商品の表示を知る」をテーマに開催した。これまで関わることがなかった方々が参加され、新たなつながりとなった。このテーマで活動している団体が少ないとから、中間支援として、新たなグループが生まれることを期待して開催した。
- ・わがまち協働大賞は、今回初めて中学生による選考を行い賞を設けた。市内の3つの中学校の生徒に選んでもらったが、真剣に検討してくれたことで、中学生のまちづくり参加について今後も展開していきたいと考えるきっかけになった。

＜ひろがる＞

- ・ブログやフェイスブックの発信などは引き続き行っている。今年度、若エンパワープロジェクトに参加したスタッフの活動として、さまざまな発信を試験的に行った。事業の広報に広告を取り入れるなど試験的に行なったが、引き続き検証を行う必要がある。
 - ・パブリックアクセスの活動の一環として、スマホ講座を開催した。身近に動画撮影ができる環境が整っているので、気軽にまちのわの投稿番組につながって欲しいと考えている。以前のまちのわコンテストで、「動画を作っている自分達もつながりたい」という声があり「ええよりまちのわ編」を開催したが、成果が充分ではなかった。動画の活動をしている方たちが把握できたので、SEA TO SUMMITの動画収録の時に手伝ってもらえないかを検討する。
- 防災訓練での多文化共生の発信は引き続き行った。
- ・広報誌にじまちは、A5版で作成して、公共施設と事業所へ配架している。東近江のいいとこ・いいこと・いいひとをテーマで特集を組んでいるが、団体への取材で出会い、そのつながりからいろいろな場面に広がるケースが増えた。

＜支えあう＞

- ・にじまちサポーターズは、2団体の応募だった。当初応募がなく心配したが、採択団体はおよそ目標額に達した。当法人も二五ハ祭りでのフリーマーケットや募金箱の

設置など、事業指定寄付制度のPRと寄付集めを行った。募金箱の場合、設置の意味を伝えるには、パンフレットだけになるので、来年度は、募金箱寄付も事業所寄付とする取り組みにも広げて、認定NPO法人の趣旨も伝えていきたい。

- ・コミュニティビジネススタートアップ事業は、東近江版SIBの事業として、当法人は相談業務を行っていた。このアドバイスから団体自身へ気づきが生まれ、成果に結びついた。またアドバイスの場は、採択団体だけでなく当団体のスタッフのスキルアップにも結びついた。なお、滋賀県協働プラットホームへ奥永源寺の支援として事業を提案したところ、プラットホームとしてムラサキプロジェクトが開催され、多くの参加者が集まり、支援のひとつとなった。
- ・個別団体のコンサルティング事業は2回行った。団体コンサルの前に、事前に聞き取りをして、ワークショップを行い、何が問題なのかを把握してアドバイザー指導につないだ。この経験を通して、スタッフのスキルアップにつながり、今後の支援メニューを考えるきっかけになった。

＜市民活動支援＞

- ・相談も年間約100件となった。新たに活動グループを作りたい人向けの相談では、共催事業として、講座を開催する中で、参加者の中から仲間を見つける支援など、その相談に応じた支援方法を考えた。
- ・初めてフェイスブック講座を開催したところ、新たな市民との関わりが増えた。そのつながりで、出前講座に発展したケースがある。新たな取り組みは新たな市民への呼び掛けになり、今後もニーズを把握しながらつくっていきたい。

＜事業実施体制＞

- ・しがNPOセンターの若人エンパワープロジェクトへ参加し、助成金を活用した研究プロジェクト「中間支援組織としての情報発信力と調査分析力の強化プロジェクト」での、さまざまな調査を通して情報収集したこと、今後の当法人の支援メニューの参考となった。
- ・ローカルサミット in 東近江は全国集会の申し込み受付事務をはじめて経験した。宿泊が伴うので、観光協会と共に行った。300名程度の申し込みから、送信者への返信、参加費の振込み確認など、多くの事務量で、こらぼ村の直前だったこともあり、多忙を極めた。この経験を通して、多くの学びがあり、今後に活かせる貴重な機会となった。
- ・3月に認定NPO法人に認証された。2015年度、2016年度の経常収入金額に占める寄付金等収入金額の割合が20%になったことを機会に申請したが、寄付額以外に、組織運営が適正であることや、情報公開が適切であることなど、8つの基準をクリアしたことが認められたことになる。今後、役員報酬規程などを定めるなど、認定NPO法人としての適切な運営を心がけるとともに、この認定を通して当法人の認知と役割を高めるために努力していきたい。
- ・自立するための自主事業収入の検討は、確立したものはまだできていない。今年度にチラシづくりや出前講座など新たな財源確保もあったので、今後、事務支援メニューを検討していくとともに、引き続き、視察コーディネイト事業も検討する。

目次

＜つながる＞

1. わくわくこらぼ村	5
2. わがまち協働大賞	7
3. ええよりの開催	9
4. 協働ラウンドテーブルの開催	10

＜ひろがる＞

1. WEB 媒体を使った情報発信	14
2. 広報誌「にじまち」の発行	14
3. 東近江市パブリックアクセス推進協議会の運営支援	16
4. その他の情報発信	20

＜支え合う＞

1. にじまちサポートーズの実施	21
2. 東近江市わくわく市民活動支援補助金事業の運営協力	23
3. 東近江三方良し基金との連携	24
4. コミュニティビジネス支援	25

＜市民活動支援＞

1. 講座の開催	28
2. 相談	31

＜地域循環共生圏構築検討事業＞

1. 環境省より地域循環共生圏構築に向けて	34
-----------------------	----

＜事業実施体制＞

1. スタッフ研修	36
2. 県内中間支援団体とのネットワーク	38
3. 運営体制	38

つながる

1. わくわくこらぼ村

目的 1 市民活動を広く市民に知ってもらうこと

2 市民活動団体の交流の場となること。

開催日時：2017年12月9日（土）10:00～16:00

開催場所：ショッピングプラザアピア4階（研修室AB、アピアホール、情報プラザ）

参加者数：1100名

参加団体：52団体

配布チラシ：15000部 東近江市の各施設、団体120ヵ所、個人114ヵ所

自治会回覧4000部

（1）実行委員会の開催 7回

実行委員会委員名簿

役職	所属	氏名
委員長	湖東地区まちづくり協議会	福田 純子
副委員長	パンカフェ KOKON～江近～	吉田 健一郎
委員	やまびこの家	川嶋 佳代子
//	びわこ学院大学ボランティア学生サークル	岸上 瑞季
//	滋賀県立大学	北井 香
//	東近江市社会福祉協議会	柴田 遙
//	東近江市生涯学習課	地家 康司
//	びわこ学院大学ボランティア学生サークル	平中 暖香
//	近江商人博物館	福井 瞳
//	NPO法人 愛のまちエコ俱楽部	増田 隆
//	東近江市立能登川図書館	松浦 純子
//	地球ハートヴィレッジ	モリコ一二直美
//	NPO法人 森林保全活動団体 遊林会	綿貫 有夏

（2）参加団体説明会・交流会

日時：2017年11月16日（木）18:30～20:30

場所：東近江市役所313.314会議室

参加者数：41団体 47名

内容：開催概要/注意点//展示・物販・体験・ステージ概要/質疑応答/わくわくこらぼ
プラン企画について/ワークショップ交流会

（3）当日スケジュール

時間	内容
10:00	開村式
10:07	滋賀県立八日市高校吹奏楽部による演奏
10:35	30秒団体紹介コーナー～「つながる地域の輪」～

11:30	展示、体験、販売、の開始
11:30	環びわ湖大学連携による成果発表会
13:00	ステージ発表
15:00	閉村式

①展示・体験・販売

参加団体：52団体（展示のみ28団体・展示+物販12団体・展示+体験4団体）

それぞれの活動紹介ブースを設置し、体験や物品の販売を行う。

②わくわく夢プランワークショップ大会&プレゼン大会

説明会で3団体1グループに分け、互いの特徴を生かした「こらぼ企画」について話し合うワークショップ型の交流を行い、企画内容をポスターにし、当日の会場で発表した。来場者に3分間プレゼンとポスターを見てもらい、面白い企画を選んでもらった。

③ステージ

活動を紹介するステージに5団体が参加。わくわくこらぼ村のステージで各15分程度の紹介を行った。



こらぼ企画プレゼン



ステージパフォーマンス

④企画

3つの会場で参加団体と参加者をつなぐ企画「クイズラリー」と「笑顔写真館」を開催した。「クイズラリー」は、受付で難易度の異なる2種類のクイズカードを選び、会場の6ブース（計12ブース）を回り回答を集め。宝の地図が完成し、情報プラザに設置した宝箱を見つけると金貨チョコが貰える。「笑顔写真館」は情報プラザにて参加者の笑顔を撮影し、その場でプリントアウトし、展示した。

クイズラリー参加者数 165人 笑顔写真館撮影枚数 77枚

⑤閉村式

わくわく夢プランワークショップ大会&プレゼン大会の表彰を行う。

受賞一覧

賞名	企画名	団体
最優秀賞	御代参フロー	中野まち協、あいのみ企画室、三方よし基金
コラボ力強い賞	Wood House Library	湖東まち協、高松会、図書館
実現してほしいで賞	森でオープンおもてなしカフェ	御園まち協、遊林会、応援塾
夢があるで賞	Iba Right	愛東まち協、よりそい、水辺の里伊庭を考える会

伝わったで賞	みんなのムラサキ学園	蒲生まち協、奥永源寺、楽苦備
ポスター賞	東近江市のかだわり食レシピを出版しよう	環境円卓会議、清流会、たけのこ

(4) わくわくこらぼ村サテライト

わくわくこらぼ村の写真やこらぼ企画で作成したポスター、笑顔写真館の写真を展示了。

日時：2018年2月16日（金）～2018年3月9日（金）

場所：八日市文化芸術会館

(5) 反省会での各委員からの意見

①ステージについて

- ・こらぼプレゼン、最後まで聞いてもらえなかった、発表自体を考える必要がある。
- ・司会者の盛り上げが上手かった、助けられた。
- ・協働大賞の表彰は一般の人には伝わらない。経緯を示す必要あり。

②企画について

- ・こらぼ企画、成果物が見えるのは良い、課題だった団体同士の深いつながりができたグループもあって良かった。開催後の実現したこらぼ事例を追う必要あり。
- ・ポスター投票は組織票が多く検討が必要。
- ・参加団体のアンケート回収率が高かった、当日にスタッフが回収に回るのは良い。

③会場について

- ・アピアで開催しているので一般の参加者の取り込みが重要、1階で呼び込み係が必要では無いか
- ・クイズラリー難易度が2種類あり、渡し方の判断が難しかった。
- ・ネット中継を見てくれている人は多かったが、通信状況に問題あり、ポケット WiFiでは3カ所をつなぐのは困難。研修室と情報プラザで放送は無理。
- ・ホールでの発表中、販売、体験の制限がもどかしい、市民の来場者は11時半までに来て、帰ってしまわれる方がいた。
- ・笑顔写真館良かった、クイズラリーのゴール地点での開催も良かった、景品の金貨は喜んでいる子どもが多かった。

2. わがまち協働大賞

市民同士または市民と行政の協働を促進するとともに、協働の事例を表彰することにより協働への意識を高める。また協働の事例の収集を目的に実施した。

募集期間：2017年6月1日（木）～2017年7月31日（月）

応募事例数：21事例

(1) チラシ・ポスターの制作

チラシを1,000部、ポスターを100部作成し、各地区コミュニティセンター、支所、図書館などに設置。また、当団体主催の講座やイベント、市主催のイベント時に配布した。

(2) 選考

選考	選考日（選考期間）	選考者
第1次選考	2017年8月31日	市協勵推進委員
市民投票	2017年10月6日～10月26日	市民
中学生選考	2017年10月12日、25日、11月27日	3中学校
最終選考	2017年10月31日	市協勵推進委員

①第1次選考

応募21事例を書類審査で10事例にしほる。

②ヒアリング

市協勵推進委員が、最終選考に残った10事例のヒアリングを行う。

③市民投票

最終選考に残った10事業を対象に、以下の場所にて市民投票を行った。

市民投票場所

場所	市民投票方法
各地区図書館	事業の概要説明ポスター展示
ショッピングプラザアピア	事業の概要説明ポスター展示及び、事業説明動画
東近江市役所	〃
WEB（インターネット投票）	事業の概要説明動画

④中学生による選考

今年度初めて、わがまち協勵大賞の最終選考に残った10事例について、市内3つの中学校に出向き、中学生によるわがまち協勵大賞選考会を行った。生徒が選んだ事例にはオリジナルの賞の名前を考えてもらい、わがまち協勵大賞の表彰式で表彰した。

- 東近江市立聖徳中学校生徒会
- 東近江市立能登川中学校生徒会
- 東近江市立湖東中学校生徒会

市協勵推進委員のヒアリングによる採点結果と市民投票の結果、事前に提出されたいたヒアリングシートにより、選定した。

受賞団体

賞名	事業名	団体名
大賞	東近江市の花「紫草（ムラサキ）」を活用した「地域活性化」プロジェクト	東近江ムラサキ紫縁プロジェクト
優秀賞	プレイヤーズファースト～新しい部活のカタチ～	湖東バスケ男子
優秀賞	新しい地域づくりのための共創の場づくり～住民の力で空家をリノベーション～	一般社団法人中野ヴィレッジハウス
特別賞	図書館とのコラボによる地域の居場所づくり	東近江市福祉総合支援課
特別賞	広報事業部・「ホップ♪ステップ♪のとがわ まち協ラジオかわらばん」	一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

特別賞	赤い羽根共同募金 募金百貨店プロジェクト	社会福祉法人東近江市社会福祉協議会
入賞 市民応援賞	愛知川の生態系の保全	愛知川清流会
入賞	びわ湖 東近江 SEA TO SUMMIT 2017	東近江SEA TO SUMMIT実行委員会
入賞	里山づくりと里まつり	建部地区まちづくり協議会
入賞 エピソード賞	後世に伝えよう！「伊庭の魅力再確認プロジェクト～想いをつなぐ～」	水辺の里伊庭を考える会
協働コーディネーター賞	・今井 陸之助さん（一般社団法人能登川地区まちづくり協議会） ・前川 真司さん（東近江ムラサキ紫縁プロジェクト）	

中学生による賞の結果

賞名	事業名	団体名
全年齢対象（大賞） 【聖徳中学校】	新しい地域づくりのための共創の場づくり～住民の力で空家をリノベーション～	一般社団法人中野ヴィレッジハウス
おしゃれまちおこし賞【能登川中学校】	新しい地域づくりのための共創の場づくり～住民の力で空家をリノベーション～	一般社団法人中野ヴィレッジハウス
東近江市ならではの魅力賞【湖東中学校】	東近江市の花「紫草（ムラサキ）」を活用した「地域活性化」プロジェクト	東近江ムラサキ紫縁プロジェクト

（3）表彰式

日時：2017年12月9日（土）14：30～14：50（わくわくこらぼ村内）

場所：ショッピングプラザアピア アピアホールステージ

副賞：受賞された事例をまち全体で応援することを目的として、東近江市内の事業所等に協力を依頼し、店舗や事業所で使うことができるクーポン券等を副賞とした。クーポンの利用により、店舗に訪れるきっかけや新しい協働の事例につながることを目指す。



（4）事例集の内容について

協働の事例集は、これまでの協働事例も含め協働事例シートとして収集し、今後の活用方法についてまちづくり協働課と検討をすすめていく。

3. ええより

多様な分野で活動している市民が、ひとつのテーマで集い、お互いの情報交換や取組の見学、悩みを共有する場として「ええより」と題した交流会を開催する。

(1) ええより～くらしに役立つ食品表示について～

日時：2017年9月20日（水）10：00～13：00

場所：中野ヴィレッジハウス

目的：コミュニティカフェである中野ヴィレッジハウスで、地域活動に興味を持つてもらうため、食品表示をテーマに交流する場として開催した。

講師：西山 実氏（生活協同組合コープしが理事長）

参加費：1,200円

参加者：13名

参加者の声

- ・表示の見方がとても詳しくわかりました。賞味期限がどうやって決められているのかよくわかりました。
- ・食品表示の見方、大きさ、利用方法がよくわきました。今後、もっとしっかり見て活用しようと思いました。現在の添加物の安全性もわかり易かったです。
- ・食品表示などに感心を持ちたい。

＜所感＞

今回のテーマが身近な話題だったこともあり、女性が多くとても賑やかな会になった。内容にも関心が高かった。中間支援として暮らしと密着した話題をテーマにすることで、新しい気づきにつながり、課題意識を持つ市民が育ってほしいと思い開催した。

また、会場を中野ヴィレッジハウスにすることで、その活動を知ってもらうことができたのも良かった。子育て中のお母さんが気軽にきてもらうため、子ども達とお母さん達が過ごせるスペースを確保したが、こうした工夫が必要を感じた。

4. 協働ラウンドテーブルの開催

(1) 協働ラウンドテーブル

地域課題を解決へ導くために、課題を共有化する仕組みとして円卓会議がある。ラウンドテーブル運営委員会では、円卓会議を「まちのわ会議」として開催している。今年度は、オファー型への対応も取り入れつつ、運営のスキルアップと多様な地域課題に積極的に取り組んだ。運営委員会と協力しながら「まちのわ会議」の開催を通して、課題の共有化や解決への導きを行う。

(2) 協働ラウンドテーブルの運営委員会の開催

協働推進委員会より派生し、ラウンドテーブルの仕組み及び実践・試行を行う委員会である。毎月、定例の会議を行う。

協働ラウンドテーブル運営委員会の開催状況

月日（時間）	場所	内容
4月25日(火)	まちづくりネット東近江事務所	「まちのわ会議」のテーマについて 「まちのわ会議」の内容について
5月23日(火)	同上	6/26日のまちのわ会議について 今後の予定について
6月27日(火)	同上	6/26日のまちのわ会議のふりかえり 今後の事業について
7月25日(火)	同上	今後やってみたいテーマについて

今後の事業について		
8月22日(火)	同上	まちのわ会議について スキルアップ研修会について
9月26日(火)	同上	まちのわ会議について スキルアップ研修について
10月24日(火)	同上	まちのわ会議について スキルアップ研修について
11月28日(火)	同上	スキルアップ研修について 11/20日まちのわ会議のふりかえり
12月14日(火)	カプリチョーザ	まちのわ会議の依頼
1月16日(火)	まちづくりネット東近江事務所	まちのわ会議のふりかえり 3月のまちのわ会議について
2月28日(火)	同上	3月のまちのわ会議について
3月28日(火)	同上	3/14日のまちのわ会議のふりかえり

(2) まちのわ会議の開催

①テーマ：「高齢者の通院支援の現状について 愛東版」

日時：2017年6月26日（月）13：50～15：30

場所：愛東支所 大会議室

着席者

《論点提供者》 東近江市福祉総合支援課 辻さん

《公共交通機関》 東近江市交通政策課 山本さん

《利害関係者》 東近江市社会福祉協議会 上田さん

《利害関係者》 あいとうふくしまモール運営委員会 丸山さん

《利害関係者》 介助タクシームラタ 村田さん

《訪問介護》 近江温泉病院訪問介護センターひまわり 合原さん

ファシリテーター

○福田 純子（協働ラウンドテーブル運営委員会）

○太田 裕子（協働ラウンドテーブル運営委員会）

記録

○北井 香（協働ラウンドテーブル運営委員会）



②テーマ「まちづくり協議会の多様な担い手をつくる」

日時：2017年11月20日（月）19:00～21:00

場所：みすまの館

着席者

《話題提供者》 湖東地区まちづくり協議会 福田さん
《まちづくり協議会》 蒲生地区まちづくり協議会 佐川さん
《まちづくり協議会》 中野地区まちづくり協議会 廣田さん
《市民活動団体》 びわこジャズフェス in 東近江 小倉さん
《市民活動団体》 チーム永源寺 花戸さん
《市民活動団体》 能登川東学区ホットスマイル 上林さん
《企業》 宮川バネ工業（株） 宮川さん

ファシリテーター

○楠神 渉（協働ラウンドテーブル運営委員会）
○築山 清美（協働ラウンドテーブル運営委員会）

板書

○北井 香（協働ラウンドテーブル運営委員会）



③テーマ「“働きたい”をつながる地域の充実したネットワークづくり」

日時：2018年3月14日（水）19:00～21:00

場所：東近江市福祉センター ハートピア2階

着席者

《話題提供者》 東近江市民生委員児童委員協議会 大塚さん
《関係機関》 東近江市しごとづくり応援センター 中西さん
《関係機関》 東近江市福祉総合支援課 小林さん
《関係機関》 滋賀県地域若者サポートステーション 朽木さん
《関係機関》 東近江圏域働き・暮らし応援センター 野々村さん
《マスコミ》 京都新聞社 北村さん

○ファシリテーター

小倉 昌和（協働ラウンドテーブル運営委員会）
久保 文裕（協働ラウンドテーブル運営委員会）

○板書

森下 瑠美（協働ラウンドテーブル運営委員会）



(3) スキルアップ講座の開催

ラウンドテーブル運営委員会では、各自のスキルアップを目指し研修を行っている。今回はメンバーの板書スキルの向上と、地域で話し合いの場をつくることの大切さを学ぶために公開で行う。

講師：宮道 喜一氏（特定非営利活動法人まちなか研究所 わくわく副理事長）

（基礎編）会議の内容を参加者が共有できる手法を知る。

（応用編）会議の内容を参加者が共有し、見える化できるようになる。

日時：2017年11月9日（木）10:00～17:00（受付開始：9:30～）

場所：愛東支所 第1会議室

参加者：50名

参加費：1日参加 ￥3000

午前参加 ￥1000

午後参加 ￥2000

スケジュール：午前：基礎編

午後：応用編



ひろがる

1. WEB 媒体を使った情報発信

(1) 東近江市地域情報ポータルサイト「東おう Me !!」

東近江市で活動する団体や事業所など、多様な主体間の連携を支援するためのポータルサイトである。しかし、5年を経過して、現状とあわない状況も生まれているので、サイト運営に関する事項を検討、方向性を探る年となった。

地域のイベント情報や行政情報、助成金についての情報の掲載を目的としているが、来年度のまちづくりネット東近江のホームページのリニューアルに合わせて移行する。移行する内容はサイト分析などを参考に、市内団体の情報更新機能や、市役所からのお知らせなど、価値の高い機能を検討する。

(2) 活動団体のHP・チラシ等の情報公開・発信の支援

団体から依頼のチラシ作成と活動団体の情報発信を行う。今年度は、チラシの作成以外にも、SNSの作成やHPの作成などWEBを使った情報発信支援を行った。

東おうMe !!は、今年度方向性を探るための年だったので情報発信件数が少なかつた。

チラシ作成と団体の情報公開の件数は以下の通り。

- ①チラシ作成 32 件
- ②HPやSNSの作成 5 件
- ③各HPやfacebookなどで紹介した件数

掲載場所	件数
まちづくりネット東近江のHP	50 件
まちづくりネット東近江のfacebook	69 件

2. 広報誌「にじまち」の発行

若い人が住んでいる地域に興味をもってもらう。東近江市で行われている市民活動を知ってもらう。ことを目的に6月、9月、12月、3月の年4回広報誌「にじまち」を発行した。

冊子サイズ：A5 サイズ 16 ページ

部数：1500 部

コンセプト：東近江のいいとこ・いいこと・いいひと。

市内設置店舗：33ヶ所（事業所、公共施設など）

(1) 内容

以下のカテゴリに分け、編集会議で取材先の検討を行い、記事を作成する。主に東近江市の市民活動やまちづくりを知ってもらえる内容をテーマに応じて掲載する。

カテゴリ	内容
特集	その月のテーマに合わせて特集の内容を考える

ちょこっとバス	ちょこっとバスに乗り、東近江市の隠れた名所を紹介
まちのわ	まちのわの情報
コラボ	東近江市市民協働推進委員会のニュースレター
東近江人	東近江市の魅力ある人の紹介
マチコト	コミュニティビジネスの事例紹介
彩	東近江市の団体の紹介
地域のかわら版	市民活動団体からのお知らせ
お知らせ	まちづくりネット東近江からのお知らせ

(2) にじまち各号の内容

発行号	特集	東近江人	彩	マチコト
6月号 (vol.17)	「誰でも始められる地域を応援する仕組み」募金 百貨店 東近江市社会福祉協議会	「地域で広げたい、音楽との出会いの場」 岡山理恵さん	「明るく前向きになるフラダンスで元気に」 ハウオリ フラタジオマハロ	「ゆらゆら、ゆりかごチアのリラックスカフェ」 カフェクレイドル
9月号 (vol.18)	「愛知川～暮らしがある水の恵み～」	「湖東地区の「むかし」を語り継ぎたい」 黄地伸さん	「身近な川を次世代につなぐためにできることからぼちぼちと」(愛知川清流会)	「作る楽しみみんなが笑顔」 くらふとKOMONOガリ版マルシェ
12月号 (vol.19)	「年末年始をどう過ごす」 太郎坊宮 押立 神社 元旦ママラソン	「食べることは生きること」 山本貞子さん	「歴史を通して次世代に伝えたいこと」 竜田を語る会 高野勝次	「安心して食べてもらいたい」とこだわっています」 農事組合法人滋賀第五営農組合
3月号 (vol.20)	「地域で広がるダンスの輪」 Dan,s Studio Ban)	「東近江市にサークルをつくりたい」 丸ちえろさん	「ここでしかできないこと」 木のねっこ	「タクシーで地域の子育て応援します」 近江タクシー湖東営業所

(3) 各号の特集内容について

①6月号 (vol.17) 「東近江市社会福祉協議会の募金百貨店の取組」

普段の暮らしを営む中で社会との接点を考える機会になればと、寄付と社会との特集とした。

②9月号 (vol.18) 「愛知川」

東近江市を流れる川であり、生活の営みの中で親しまれた川である「愛知川」を取り

上げた。愛知川と人々の暮らしのつながりを取材する中で、自然と共に暮らす暮らしを見つめてもらう特集とした。

③12月号（vol.19）「東近江の年末年始の過ごし方」

次の世代に残したい年末年始の習慣についてアンケート調査を行う。アンケートでは、「家族そろって年末年始を過ごしたい」という意見が全世代で多かった。家族で過ごすことの大切さや家族の絆を感じた。

④3月号（vol.20）「東近江のダンス」

東近江で取り組んでおられるダンスに注目し、様々な人たちがダンスを通して交流している姿を紹介した。



3. 東近江市パブリックアクセス推進協議会の運営支援

（1）パブリックアクセスとは

パブリックアクセスとは、一般市民が一定のルールによって自主的に放送番組を企画・制作することを指し、広くは放送に限らず「言論・表現の公共圏（パブリックフォーム）」にアクセスする行為や制度を言う。

パブリックアクセスは、政治やビジネスに専有されたメディアに多様な市民の意見を反映させる民主主義の基盤にしたシステムであり、先進国でこうした市民放送局が活躍しているが、わが国では法整備がなされていないため、先進的な団体等が情報収集し、横の連絡を密にしながら取り組み始めている。

（2）パブリックアクセスの意義

情報を市民自身が制作し発信するという「当事者視点」を持ち、議論を徹底して物事を進めることで「合意形成の過程を共有」することができる。また、東京中心の放送から脱却し、「各地域が情報発信の源」となることができる。

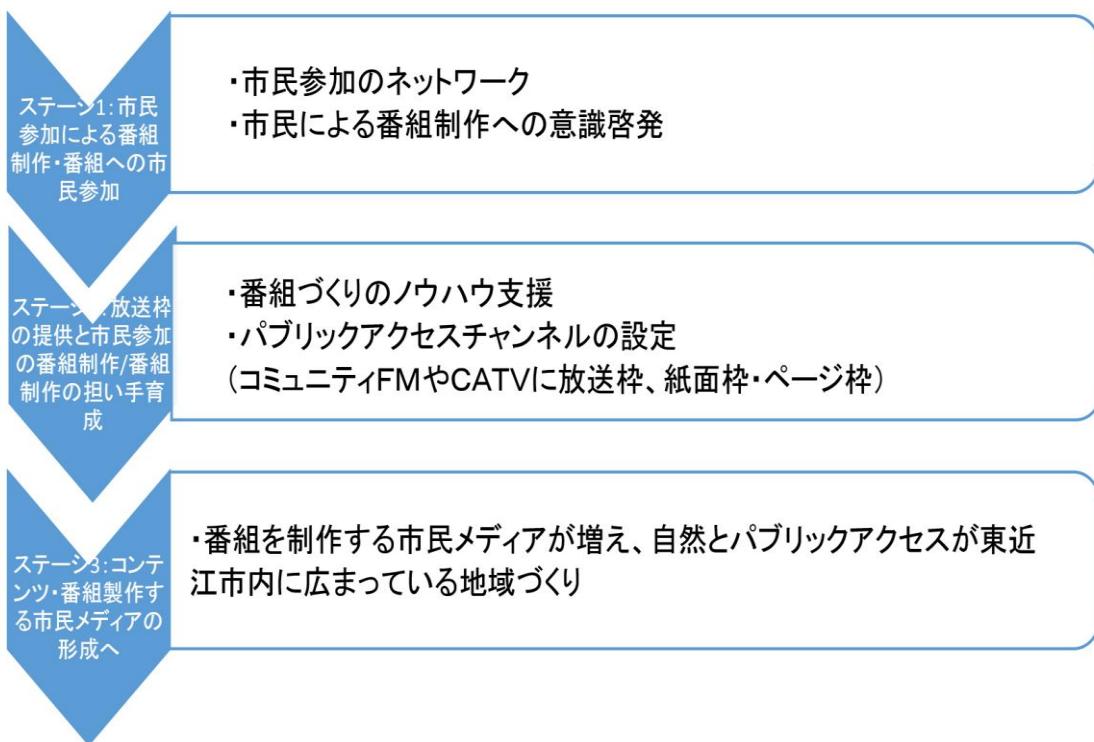
その他にも、地域の記憶を共有するような「ソーシャルキャピタルの構築」や「過度の商業主義からの脱却」、「地域の非営利活動の促進」等が可能となり、熟議型民主主義が発展していくと考えられている。

（3）東近江市でのパブリックアクセス

東近江市では、東近江縁の分権改革研究会の中で「パブリックアクセス」の部会が立ち上がり、その内で市内でのパブリックアクセスの実現に向けて検討し、2012年に東近江市パブリックアクセス推進協議会が設立され、パブリックアクセスを具現化する協議が行

われている。まちづくりネット東近江は、構成団体の一つであり、事務局を担っている。

パブリックアクセス実現方策



(4) 東近江ケーブルネットワーク株式会社との番組制作

東近江スマイルネットで、毎月第1週目の月曜日から日曜日に15分の市民投稿番組「まちのわ」を制作している。今年度は、11作品の投稿があった。

投稿月	番組名	投稿者
4月	能登川地区ふるさと散歩道ダイジェスト版	能登川地区まちづくり協議会ふるさと散歩道事業部
5月	50年森 野外創作プログラム 地球ハートキッズ 2016	地球ハートヴィレッジ 協賛：中野地区まちづくり協議会
6月	ほんなら堂	あいとうふくしモール運営委員会
7月	地域で話をしよう「協働ラウンドテーブル」	東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会
8月	百済寺の景色～写真講座より～	NPO法人まちづくりネット東近江
9月	芝生の上でタグラグビー	NPO法人東近江スポーツクラブ楽苦備
10月	春季大祭松尾神社	パンカフェ～江近～
11月	蒲生の夏	一般社団法人がもう夢工房
12月	東近江市総合防災訓練～多言語での情報発信～	川崎 日出夫
1月	東近江市にサーナスが生まれました！	丸ちゃん（ロケットサーナス）
2月	まちのわコンテスト市民投票	NPO法人まちづくりネット東近江
3月	まちのわコンテスト市民投票（再放送）	NPO法人まちづくりネット東近江

(5) 講座・相談会の開催

市民参加の情報発信の仕組み、意義を広げ、情報発信を行える市民を育成し、「まちのわ」への投稿を促す。

①ミニ動画相談会の開催

日時：2017年6月19日（月）13:30～15:30 能登川コミュニティセンター

参加者：7名

日時：2017年8月30日（水）13:30～15:30 蒲生コミュニティセンター

参加者：3名

内容：動画撮影や動画編集に興味がある方、上手な撮影・編集方法を知りたい方の撮影方法や編集方法の相談会とし、少人数で個別の相談にも応じ、新しい参加者の掘り起こしを目的に出前講座とした。

＜参加者の声＞

- ・撮影の基本知識やアプリの紹介が良かった。
- ・動画を使った広報に取り組みたいと思い参加した。Facebookでの動画投稿のコツなど聞けた。
- ・編集ソフトの事や使用できるファイル形式などを教えてもらえた。



②スマホ動画撮影編集講座の開催

日時：2018年3月19日（月） 14:00～17:00

場所：中野ヴィレッジハウス

参加者：15名

講師：谷田 寛次さん（WeaveStyle）

内容：「あなたのスマホで気軽に動画をつくってみませんか」をテーマに、市民や市民活動団体が主体的に情報発信することの大切さについて考える機会とした。

＜参加者の声＞

- ・動画のキホンを教えて頂けたのが勉強になりました。基本的なことを知らずにいたので、今後の活動報告などにいかしていきたい。
- ・結果まで教えて頂きたかった（撮影したものを編集して完成させたかった）
- ・近郊で動画（映像）のクラブを作って欲しい。特に撮影時1人では限界を感じる。
- ・スマホで写真・動画をあまりやったことが無かったので大変参考になりました。

(6) 災害時の情報発信

日時：2017年9月3日(日)7:30～10:00

場所：ひばり公園グラウンド

参加者：8名(パブリックアクセス推進協議会 6名 多言語発信ボランティア 1名、動画

撮影ボランティア 1名

①災害情報の選別と多言語翻訳訓練

災害情報を取捨選択し、やさしい日本語や多言語に翻訳して CATV・FM・SNS を活用して情報提供を行う。

②災害ボランティアセンター情報伝達訓練

災害ボランティアセンターに届けられたニーズの把握及び相談への対応等をシミュレーションし、やさしい日本語及び多言語に翻訳し、CATV・FM・SNS を活用し情報提供を行う。

③翻訳アプリの検証

スマートフォンでダウンロードできる無料の翻訳アプリを使い、外国人とのコミュニケーションについて検証した。昨年は音声での翻訳アプリの検証をしたが、日本語も外国語も違った内容に翻訳されるケースが頻発した。今回は Google 翻訳に入力して検証を行ったところ、高い精度で翻訳され実用的だとわかった。



(7) まちのわコンテストの開催

市民投稿番組「まちのわ」に投稿頂いた作品を表彰することによって、今後の投稿を促すためにコンテストを開催した。

日時：2018年3月19日(月) 16:00～16:30

場所：中野ヴィレッジハウス

内容：まちのわコンテスト表彰式

受賞作品

賞	団体名	作品
最優秀賞	丸ちえろ(ロケットサーカス)	東近江市にサーカスが生まれました！
優秀賞	あいとうふくしモール運営委員会	ほんなら堂
優秀賞	一般社団法人がもう夢工房	蒲生の夏
市民応援賞	川崎日出夫	東近江市防災訓練～多言語での情報発信～

4. その他の情報発信

(1) 情報発信力強化

市民活動や地域活動に関する情報を取材し、広報誌、まちづくりネット東近江のホームページやfacebookで発信した。市役所1階ロビーの壁面と事務所玄関に市民活動情報掲示板を設置し、チラシやパンフレットの掲示を行った。

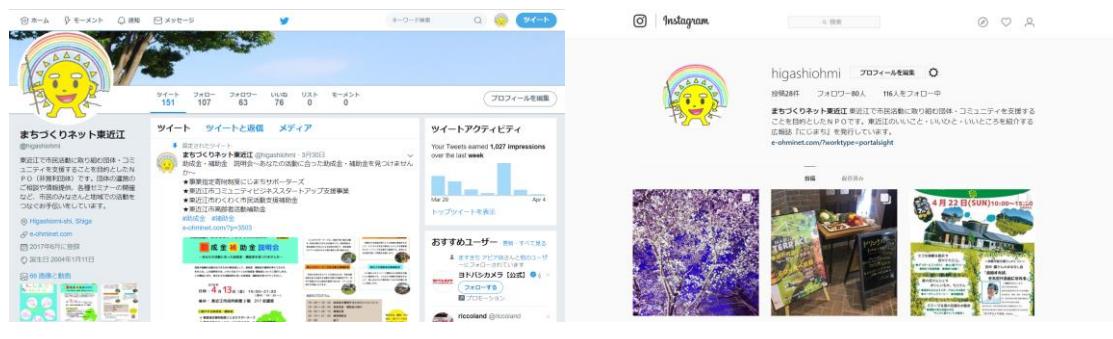
また、情報発信ツールとして新たにTwitter、Instagram、Google+、Youtubeのアカウントを作成し、発信する媒体を増やし発信力を強化した。



まちづくりネット東近江のHP



市役所1F掲示板



Twitter

Instagram

(2) そこら編集委員会への参加

市内で活躍する人や気になる場所、祭事や活動など「東近江市の今」を若い世代に知ってもらうことを目的に、各種団体の方々で構成する編集委員会に参加し、情報誌「そこら」を作成した。

今号のテーマは、「ローカルサミット」

2500部発行 各市内図書館・コミュニティセンター等へ配架

(3) つれづれ日記の発行

まちづくりネット東近江の活動を知ってもらうために毎月発行。事業の報告及び、翌月の予定などを掲載し、運営委員、会員向けに配布した。また、市役所1階掲示板に掲示・設置し市民向けに配布した。

支え合う

1. にじまちサポーターズの実施

市民活動団体が実施する事業を市民が支援する事業指定寄付制度。この制度に参加することにより、取り組みが活性化することや、資金調達の方法を知り今後の活動に活かせる。

(1) 採択団体と寄付額

①採択団体

- ・百済寺樽歴史研究会
「百済寺樽の歴史とロマンを伝えたい」
- ・NPO 法人愛のまちエコ俱楽部
「愛東の特産品を守る応援隊をつくります」

① 2017年度集まつた寄付金額は以下のとおり。

団体名	目標金額	寄付金額
百済寺樽歴史研究会	200,000 円	206,290 円
NPO 法人愛のまちエコ俱楽部	500,000 円	504,447 円
寄付金合計	700,000 円	710,737 円

(2) にじまちサポーターズ説明会

日時：2017年4月26日（水） 18:00～ 場所：東近江市役所新館314会議室

※資金計画作り講座と同時開催

2017年4月27日（月） 10:00～ 場所：まちづくりネット東近江事務所

内容：にじまちサポーターズに応募をしてみたい団体に向けて、どのような寄付制度なのか説明し、団体が疑問に思っていることにもその場で対応 sita

(3) にじまちサポーターズ応募団体ヒアリング、選考委員会

日時：2017年5月18日（木） 17:00～

場所：まちづくりネット東近江事務所

内容：選考委員会が応募団体にヒアリングを行い、選考委員の評価をもとに採択団体を決定した。

選考委員：委員長 谷口 浩志（しみんふくし滋賀）

委員 菊井 千恵子（ファイナンシャルプランナー）

委員 西川 実佐子（認定NPO法人しがNPOセンター）

委員 野村 正次（NPO法人まちづくりネット東近江）

選考方法：各団体の申請書を確認し、以下の審査項目で審査する。

- ・事業の目的
- ・事業の計画性
- ・地域への波及効果
- ・寄付制度の理解
- ・実現能力の有無



(4) にじまちサポートーズ作戦会議

内容：寄付集めを進めるにあたり、採択団体と事務局で寄付集めの方法や今後のスケジュールなどの確認を行った。

日時：7月 7日

第1回にじまちサポートーズ作戦会議

10月17日

第2回にじまちサポートーズ作戦会議

1月22日、23日

第3回作戦会議にじまちサポートーズ（団体個別）



(5) にじまちサポートーズ普及活動

概要：にじまちサポートーズを周知するために、パンフレット作成やプレスリリースを実施した。

実施内容：6月20日 ケーブルテレビにて採択団体の紹介

8月下旬 にじまちサポートーズパンフレット配布（市内コミセン、県内中間支援施設など）、ドネーションパーティーPR



(6) イベントや寄付商品販売での寄付集め

市内の事業所24カ所に募金箱を設置し、市民に募金型の寄付を募った。

募金箱設置協力事業所

（順不同・敬称略）

釈迦山 百濟寺	はちみつとフリーペーパーの専門店「はっち」（大阪）	全国の鮮魚とオーガニック野菜 遊漁（大阪）
愛land コロニー	カフェ・ド・ココ	パピエ
株式会社ミナミイ	野菜花	コガモカフェ
中野ヴィレッジハウス	あいとうマーガレットステーション	くつろぎ茶幸
2丁目植堂	セリーヌ	外川善種苗店
ルトンセラン	重森スポーツ	マエダクリーニング
サヤームエラワン	KOKON	スマイルキッチン
ABC 食堂	BUNBUN	ますきち

- 事業所 Mittte は、年間通じてコーヒーチケットの売り上げの一部を寄付をいただいた。
 - 東近江市内で行われたイベントに参加し、にじまちサポートーズの寄付集めを行った。
- 11月3日 二五八祭りにて、寄付付商品の販売



二五八祭でのバザー

(7) にじまちサポートーズ検討委員会

2017年度の事業の反省、2018年度の計画や募集要項などの検討を行った。

日程	検討内容
2018年1月29日(月)	2017年度にじまちサポートーズ採択団体中間発表 2017年度採択団体活動評価と寄付配分決定
2018年2月23日(木)	2018年度事業指定寄付制度にじまちサポートーズ実施計画書・募集要項の検討

2. 東近江市わくわく市民活動支援補助金事業の運営協力

(1) 東近江市わくわく市民活動支援補助金

東近江市わくわく市民活動支援補助金は、市民が主役のまちづくりを推進するため、市民活動団体が自ら企画して実施する活動に対して、市がその経費の一部を助成する補助金制度であり連携し支援する。今回は1次募集で採択数に達しなかったため、2次募集を行った。

(2) 採択団体

①ちょっとわくわくコース

事業名	団体名
自然育児サークル	木のねっこ
後世に伝えよう！伊庭の魅力再確認プロジェクト	水辺の里伊庭を考える会

②わくわくコース

事業名	団体名
年齢、性別、人種、障害など「多様性」を踏まえ親育・資質交互諭事業	NPO法人東近江スポーツクラブ楽苦備
まちづくりドラマ映画脚本コンテスト開催	あいのみ企画室
ちょっとホットで心あったか	NPO法人 まちの相談室 よりそい
「木地師のふるさと」活性化事業	木地師のふるさと高松会

(3) 募集にかかる協力

- チラシの作成
- 広報宣伝
- 申請書の書き方支援

(4) 審査会について

①第一次募集

日時：2017年6月17日（土）9:00～

場所：東近江市役所東庁舎

②第二次募集

日時：2017年9月19日（火）15:00～

場所：東近江市役所314会議室

3. 東近江三方よし基金との連携

(1) 東近江三方よし基金の公益財団法人化

社会情勢が大きく変化する中、地域課題は多様化しこれまで以上に行政と市民、市民と市民が協働して課題を解決することが必要となっている。そこで「志のあるお金」を「地域資源を活かしつつ」解決をめざす多様な主体やその取り組みに対し、社会的に意義のある活動に生かすために「東近江三方よし基金」が設立された。

2016年度に300万円の出資金を集め2017年4月に一般財団法人となり、2018年には公益財団法人として認定される見通しである。今後もそれぞれの役割を明確化し、必要な連携を考える。

(2) 東近江三方よし基金との連携事業

①ローカルサミットin東近江の開催

2017年12月1日から3日間にわたり開催された、ローカルサミットin東近江の事務局を連携して担った。受付事務や入金の管理、報告書の作成等を担当する。全国から延べ500人近くの人が参加をされ、東近江を知り、考え、そして気づきをもってもらえた。ここで、得られたものを今後に生かしていきたい。

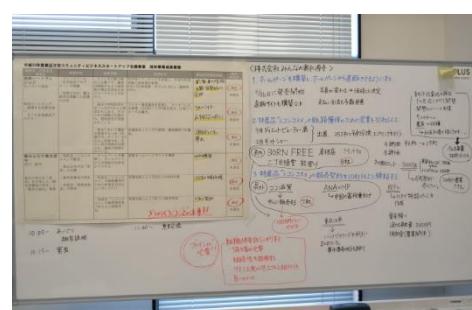
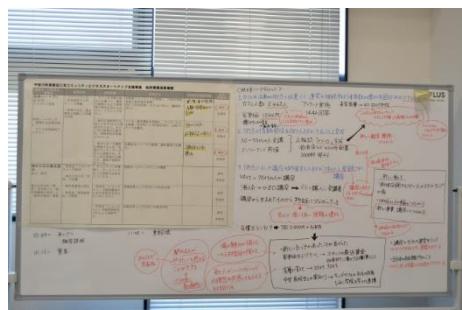


②成果審査会の支援

成果審査会の支援を行い審議内容が見える化できるように板書を行う。

日時：2018年3月14日（水）10:00～12:00

場所：東近江市役所320会議室



③成果発表会の運営支援

採択2団体の成果発表会の開催支援を行う。SIBの仕組みを取り入れて2年目となり、これまでの市と採択団体のやりとりだけでなく、多くの人に関わってもらう機会ができ、市民の一人一人が自分事のようにそれぞれの事業に関心を持ってもらえた感じる。応援した団体の成果を知ってもらう機会と、それぞれの団体同士が関わりを持つ機会になった。当日は、成果発表会の準備や、片づけ、記録などを行った。

日時：2018年3月17日（土）10:00～12:00

場所：ショッピングプラザアピア4階研修室



4. コミュニティビジネス支援

（1） コミュニティビジネススタートアップ事業

地域の課題をビジネスで解決するしくみとして、コミュニティビジネスがある。地域のためのビジネスであり、地域の活動を更に発展させることを目指し、事業化におけるさまざまなコーディネイトと専門家によるアドバイスをいただきながら進めた。

①採択団体

●地球ハートヴィレッジ

事業名：「地球ハートキッズ 循環する共尊共栄へ 子ども未来創造アカデミー」

成果目標

- ・カフェを活動の拠点と位置づけ、運営が継続するよう来客数の増加を図るためのマーケティングを行う。
- ・拠点の情報発信を担う人材が5名以上育成されており、その人材の情報が公開され、情報発信が実践されている。
- ・拠点において講座を開催する人材（有償ボランティア）が3名以上登録され、その人材の情報が公開され、講座が実践されている。

●みんなの奥永源寺

事業名：「東近江市の花「紫草」を活用した「耕作放棄地の再生」と「雇用の創出」事業」

成果目標

- ・ホームページを構築し、ホームページからの直販が出来るようになる。
- ・特産品「シコンコスメ」の販路獲得のための営業を30社以上に対して行い、先方の名刺を提示する。
- ・特産品「シコンコスメ」の販売契約を10社以上締結し、契約書を提示する。

②コミュニティビジネス相談会の開催

採択2団体の活動展開を支援するため、講師より、困っていることや課題を感じていることに対して、アドバイスを頂く。成果目標の達成状況も同時に確認を行う。

講師：鵜飼修氏（滋賀県立大学准教授）

回数	日程	内容
1回目	7月27日（木） 15:00～17:10	・今後の活動について ・これから始めるにあたって困っていること。
2回目	10月17日（水） 15:00～17:10	・活動進捗状況の確認及び困っていること
3回目	1月17日（水） 15:00～17:10	・活動進捗状況の確認及び来年度に向けて



（2）コミュニティビジネスセミナーの開催

日時：2018年3月1日（木）13:00～17:00

場所：東近江市役所 314 会議室

講師：山元圭太氏（株式会社 PubliCo 代表取締役 COO）

参加者数：10名

内容：事業の目的を掲げそのために必要な目標金額を集める、「寄付キャンペーン型」を取り入れた資金集めの方法を学ぶ。寄付を募る行為自体が認知度をアップさせ、地域での活動を知ってもらう大きな機会となり、こうした手法を知り、事業計画づくりに生かしてもらう。



（3）組織運営についての個別相談会

目的：組織の運営には、さまざまな悩みや困りごとがある。ビジネス手法で組織を運営する場合、団体の核となる基盤がしっかりとしていないと事業もうまく進まないことが多い。そこで、組織の基盤を強化し、継続して事業を進めていくためにはどんなことが必要なのか考え、ヒントを得ることを目的に開催した。それぞれの団体に合わせたアドバイスができるように個別の対応を行った。

日程：2017年11月17日（金）10:00～18:00

2018年 2月23日（金）10:00～18:00

場所：各団体事務所

団体数：3件

講師：山元圭太氏（株式会社 PubliCo 代表取締役 COO）



（4）コミュニティビジネスの事例収集と紹介

東近江市内で取り組まれている事業や団体立ち上げについての情報を収集した。

団体名：政所茶縁の会

奥永源寺地域で栽培されている政所茶を安定して生産し販売するために、一般社団で法人化され今後事業化に向けた取り組みを進めている。政所に拠点を整備され、事務局スタッフや役員が決定した。

団体名：地球ハートビレッジ

コミュニティカフェを中心に、子どもの事業やアート事業、女性の自立支援などの、活動を展開。少しずつ知名度とカフェの客数が伸びている。地産池消の農産物などを利用したメニューなど、地域観光に特化したプログラムも検討している。

市民活動支援

1. 講座の開催

(1) 資金獲得セミナー

日時：2017年4月26日（水）18:00～20:00

場所：東近江市役所314会議室

参加者：7名

講師：野池 雅人（プラスソーシャル）

内容：市民活動団体の財源の考え方と、資金を調達する様々な方法について学ぶとともに、東近江市での資金調達の仕組みを説明した。



(2) これからはじめようfacebook

日時：2017年5月25日（木）、5月30日（火）13:30～15:00

場所：NPO法人まちづくりネット東近江

参加費：無料

参加者：10名（両日あわせて）

内容：facebookを活用できる人を増やすことで、市民の情報交流が盛んになるきっかけとなり、個人の利用から地域で活動する団体やグループでの活用につなげるため、使ったことがない方を対象に、個人アカウントの作成から学ぶ。

＜参加者の声＞

- ・HPとfacebookの関連性がわかった。有効に使っていけるようになりたい。
- ・一人ひとり丁寧に教えてもらいよかったです。自分のページができたことで一步前進した。
- ・個人ではアカウントを作っていたので、まち協のページが作れてよかったです。
- ・facebookの基礎的なことを教えていただいた。経験を積んでスキルを上げていきたい。中級、上級講座の開催も希望します。



(3) 心に届く文章の書き方講座

日時：2017年6月1日（木）13:30～15:00

場所：東近江市立八日市図書館 2階集会室

参加費：500円

参加者：12名

講師：中島 みちるさん（育脳インストラクター）

内容：広報力を高めるようブログやチラシ、活動報告書などのそれぞれのパターンに
あった文章の書き方を学んだ。

参加者の声（アンケート回答 11名）

講座の感想	
大変わかりやすかった	6
わかりやすかった	3
少しわかりにくかった	1
わからなかった	0
無回答	1



（4）写真撮影講座～素敵な写真が撮れる方法～

日時：2017年6月7日 13:30～15:30

場所：百済寺

参加費：500円

参加者：8名

講師：辻村 耕司さん（辻村写真事務所）

内容：写真撮影に関するスキルについて幅広く学ぶとともに、講座の中で会場周辺を実際に撮影し、上手な写真の撮り方を実践する機会とする。

講座の感想	
大変わかりやすかった	4
わかりやすかった	4
少しわかりにくかった	0
わからなかった	0
無回答	0

- ・百済寺の庭がとても好きだったので参加したいポイントの一つだった。
- ・撮った写真を加工する方法が参考になった。
- ・雨だったが緑がきれいに撮れてよかった。



(5) 人の目にとまる魅力的なチラシづくりの基礎を学ぶ～チラシづくり講座～

日時：2017年7月10日（月）13:30～15:30

場所：能登川コミュニティセンター学習室1.2

参加費：1000円

参加者：40名

講師：坂田 静香 さん

内容：チラシ作りの基礎を学ぶワークショップと座学で実施。イベントや講座の企画から、テーマの設定方法や魅力的なキャッチコピー、チラシに記載する内容、フォントの選び方、色の持つ印象の与え方、デザインや配置など、参加者を集めるチラシをつくるコツを学んだ。

また、団体がこれまで作成したイベントや講座の企画書やチラシを持ってきてもらい、それを活用したワークショップを行った。

〈参加者の声〉

講座の感想	名
大変よかったです	30
よかったです	5
あまりよくなかったです	1
よくなかったです	0
無回答	2

- ・対象者・タイトルについてしっかり企画した後作ることの大切さを学ばせて頂きました。今後に生かしていきたいと思います。
- ・企画や内容がすごく大事だとわかった。
- ・「タイトルは長くても良い」が最も新鮮でした。



(6) 助成金学習会

日時：2017年10月13日 10:00～12:00

場所：まちづくりネット東近江事務所

参加者：2名

内容：助成金の説明とどういう助成金が良いかを個別に相談を行った。

(7) ひよこサロン

時期：2ヶ月に1度（6月、8月、10月、2月）※12月は休み

場所：まちづくりネット東近江事務所
プログラム：10：00～ NPOって何 市民活動って何
10：30～ 意見交換
11：30 終了

①日時：6月29日（木）

参加人数：1名

②日時：10月26日（木）

参加人数：2名

内容：市民活動ってどういうものかを知ってもらうきっかけとして、NPO ミニ講座を行う。市民活動をしたいと思っている方や、これまでも様々な活動をしてきたが、もっと関わる人を増やしたいと思っている方などが集まり、交流する機会をつくる。その後市内や県内の市民活動について事例を話し、質問を交えながら意見交換を行った。

2. 相談

（1）窓口・電話による相談対応について

相談者の内容、対応したこと等をデータベースのセールスフォースに入力し、スタッフ全員で共有し、次に役立つように記録を残している。さらに、記録を集計してまちづくりネット東近江が行う支援のあり方や、期待される役割等を検討するデータとして活用している。

拠点ができたことで、気軽に相談できるようになり、昨年に比べて増えた。広報・PRなど情報発信に関するものは相変わらず多い。その中でチラシ作成事業に結びつく例もある。市民活動相談として「事業計画・事業運営」についての相談も多いので、講座の企画などで対応した。活動資金の相談等も多いが、1年毎の助成金に頼るのではなく、継続した運営のための資金確保に結びついて欲しいと思い、講座を企画するが、参加に結びつかない。集計分類の項目は事業の柱に合わせ、相談で受けた内容を事業に反映しやすいよう設置している。

実績：総相談件数100件、相談総数時間123.1時間

相談案件

大分類	小分類	件数
1 設立・解散相談	設立の手続きと流れなど	12件
2 会計・財務相談	会計・財務の具体的な内容など	4件
3 市民活動相談	組織・事業運営、「協働」に関することなど	14件
4 情報発信相談	広報・PR、情報発信 など	31件
5 助成金相談	助成金、活動支援金など	15件
6 その他	上記分類に当てはまらないもの	24件
	(総計)	100件

主な相談者

分類	件数	分類	件数
個人（個人事業主、企業）	2件	企業	8件
NPO 法人	20 件	公的機関	21 件
任意団体	27 件	社会福祉法人	3 件
社会貢献団体	3 件	その他	7 件
財団法人・社団法人	9 件		
(総計)		100 件	

(2) 各種の相談要請に対するアドバイザーの派遣、専門家の仲介

相談案件のうち専門的な支援が必要なものは、専門家及び専門機関へのコーディネイトを行った。

①情報発信の相談

対象団体	みんなの奥永源寺
連携先	生活情報誌オウティ
内容	PR に関し、さまざまな場面での展開に困っている団体に対して、オウティから情報提供の依頼があったので紹介する。
関係者	オウティ、まちづくりネット東近江

②協働の相談

対象団体	みんなの奥永源寺
連携先	滋賀県県民活動課
内容	県内へのムラサキプロジェクトの展開を望んでいたので、滋賀県県民活動課の協働プラットホームへ紹介し、プラットホームが開催された。美容室や銀行、地域で活動している方々など、さまざまな応援する方達が集まった。
関係者	滋賀県県民活動課、まちづくりネット東近江

③視察先の紹介

対象団体	社会福祉法人文京区社会福祉協議会 (地域連携ステーション フミコム)
連携先	がもう夢工房（コガモカフェ）、一般財団法人東近江三方よし基金

内容	日本NPOセンター主催のフォーラムで、協働大賞の冊子を見て、東近江のSIB事業や、協働の事例、三方良し基金について知りたいとのことで視察に来られたので、紹介した。
関係者	中間支援

(3) ボランティア希望者と受け入れ団体のコーディネイト

東近江市社会福祉協議会地域福祉課からのボランティア募集に協力をした。

内容：夏休み期間中、養護学校や特別支援学級に通う子どもたちが、創作活動や遊びを通してたくさんの友達や地域の方々とふれあい、楽しく有意義な時間を過ごすことを支援し、子どもたちの仲間づくり、理解者づくりを目的に実施する事業のボランティアを募集する。

支援内容：まちづくりネット東近江のHP、Facebook、市役所掲示板にてチラシの広報を実施した。

地域循環共生圏構築検討事業

1. 環境省より地域循環共生圏構築にむけて

環境省からの委託を受けて、住民参加型の課題解決につながる関係団体と連携して、「多様なプラットフォームづくり」、「自立のための経済的仕組みづくり」、「人材育成」のテーマで事業を進めた。

環境分野での課題は、幅が広く一つの分野では収まりきれないものが多い。だからこそ、多角的な視点から課題に取り組むことができるよう意識づける場が必要である。その場が「円卓会議」であり、その課題の解決に向けて、様々な立場から見えてきた事実をもとに、課題を共有する場が大切だと考える。環境課題を市場原理だけで解決することは出来ないため、三方よし基金と環境活動を支える資金調達の仕づくりを連携して取り組んだ。まちづくりネット東近江がこれまで行ってきた、「団体が自立できる持続可能な事業」を進めていく。

(1) 多様な主体によるプラットフォームづくり

①環境啓発冊子「e～らいふ」の発行

団体の取組や商品を見てもらい、関わることでライフスタイルを見つめなおし、暮らしが豊かに感じられるように、各団体の取組の紹介ページを以下の4点に分類し作成した。

2018年3月発行 3500部

- ・「たべる」地元産食材を使った料理を食べる
- ・「えらぶ」その商品や、その取組を選ぶ
- ・「さんか」活動や取組に参加する
- ・「ふれる」自然環境にふれる取組に参加する

②円卓会議

第1回東近江市環境円卓会議の開催

日時：6月9日

- ・普及啓発方法の検討

第2回東近江市環境円卓会議の開催

日時：8月8日

- ・啓発冊子の内容の検討

環境啓発冊子作成説明会

日時：9月15日

- ・指標団体へ説明

第3回東近江市環境円卓会議の開催

日時：12月19日

- ・啓発冊子の校正

③住民参加型の生物多様性評価手法の確立（いきもの調査隊の実施）

(2) 自立のための経済的仕組みづくり

6月12日、772名、3,001,000円の基金を元に、一般財団法人東近江三方よし基金の設立登記が行われた。

(3) 人材育成

①環境施策勉強会の開催

国連のSDGsを踏まえ「誰一人残さない社会」をテーマに開催され全国協同集会では、まちづくりネット東近江は分科会を担当した。食とエネルギーとケア（生まれてからなくなるまでの支援）がしっかり地域で貢えることは、安心な暮らしを営む根幹である。地域の多様な分野が手をつなぎながら生業として自立を目指す団体や若者の活動を通して、地域のあるべき姿を探る。

日時：2018年10月7日10：00～18：00 びわ湖ホール

10月8日 9：00～17：00 マーガレットステーション

②遺贈寄付等の勉強会

人生の終末に対応している施設や、終活に关心のある方を対象に「遺贈寄付」について学ぶ。個人の社会貢献として身近な自分達でも出来る「遺贈」について、多くの事例と、税務のポイントについて学ぶ。

日時：2018年2月27日

場所：東近江市社会福祉センター

事業実施体制

1. スタッフ研修

(1) 各種研修への参加

中間支援組織として、日々の業務に多様なスキルが必要になる。そのためにさまざまな講座に参加し、スキルの向上を図る。また、セールスフォース導入にあたり、入力の指導を受けた。

参加した研修

日時	参加イベント・フォーラム名
4月16日	セールスフォース入力指導
5月15日	セールスフォース入力指導
5月24日	新任事務講習会参加
6月6日	全国コミュニティ財団研修会
6月7日	全国コミュニティ財団研修会
6月23日	セールスフォース入力指導
7月14日	NPOと行政の対話フォーラム参加
8月3日	長良川オンパク視察
8月31日	観光コンテンツワークショップ参加
9月12日	観光コンテンツワークショップ参加
8月27日	シラベル×クラウドファンディングミーティング2017
9月26日	休眠預金公聴会
9月23日	淡海ネットワークセンター20周年記念事業
9月29日	セールスフォース入力指導
10月7日	協同集会
10月8日	協同集会
1月11日	観光モニターツアー
1月18日	観光モニターツアー成果発表会
1月11日	東近江市観光モニターツアーBIWAKO 曼荼羅寄席
2月3日	非営利組織のための「第三者組織評価」制度説明会&NPO 法人役員（理事・監事）力向上セミナー
2月8日	地域まちづくりの活動の要点～中間支援・小規模多機能自治の現場から～
2月13日	日本遺産先進地視察研修 高島 針江生水の郷
2月18日	文化・経済フォーラム滋賀第8回総会
2月26日	滋賀県市町社会福祉協議会会长会トップセミナー 「社協の質を向上させる人事管理とは」
3月7日	地方創生セミナー
3月19日	滋賀県協働プラットホームテーマ：絶滅危惧種「ムラサキ」を活用した地域活性化プロジェクト
3月26日	滋賀県協働プラットホームテーマ：滋賀県におけるソーシャル・インパクト・ボンド (SIB) の普及

(2) NPO若人エンパワープロジェクトでの研修

2016年度より2年間のプログラムとして、しがNPOセンター主催の若人エンパワー プロジェクトに参加した。2年目となる今年度は団体の組織基盤の強化に繋がる事業「中間支援組織としての情報発信力と調査分析力の強化プロジェクト」として20万円の助成金を受けて実施した。

①全体研修

4月18日	プレゼンテーション手法とパワーポイントの作成(若人)
5月24日	健康保険の基礎、厚生年金の基礎
5月26日	Webマーケティングセミナー
6月14日	ICT活用講座(若人)
7月14日	NPOと行政の対話フォーラム17
8月1日	第1回GoogleAdgrants勉強会
8月24日	SNS広報とペライチセミナー
9月14日	第2回GoogleAdgrants勉強会
10月13日	災害時における広域・多職種連携セミナー(若人)
10年20日	次世代に伝えたい滋賀の市民活動史(若人)
11月14日	第3回GoogleAdgrants勉強会
3月17・18日	ファンドレイジング日本2018

②中間支援組織としての情報発信力と調査分析力の強化プロジェクト

まちづくりネット東近江では、自立した市民が地域力を高め、地域全体が元気になる社会を目指しており、中間支援組織として調査分析力、情報発信力を獲得し、東近江市市民活動の情報発信の拠点になる必要性がある。そして市内の活動団体の情報を発信できる力と、市民一人ひとりが、地域課題に気づき、考え、動くきっかけを作ることを目的として「中間支援組織としての情報発信力と調査分析力の強化プロジェクト」事業を考えた。

アクセス解析ツールを導入し現状のHPのアクセス調査を実施、既存のHPやSNSの見直しと共に、今まで利用していなかったツールを新規で立ち上げ、アクセス効果を検証した。また、広告機能を使用したアクセス数などの効果検証を実施した。

事業成果として、自団体のHPへの訪問者が増加し、Webでの広報誌の閲覧者数も増えた。(月8PV→158PV) Googleの広告をNPO向けの無料サービスを使い、効率的にPRする手段を作成した。HP、Facebookページの作成や運営は、情報を発信して欲しいという団体が増え、地域の団体への支援につながった。

自分達で情報発信をしようと思う団体が増えてきていると感じる。またこれまでの発信媒体だけでなく、新しい発信媒体の利用により、団体自身の魅力を、今までと違ったファン層へ伝えようと努力されている。

導入したアクセス解析ソフトやNPO向け広告サービスをより活用し、東近江市で活動する団体の情報発信力の底上げにつなげていく。新しい事業を考えるきっかけにもなり、今までと違った新しい財源確保にもつなげていく。

2. 県内中間支援団体とのネットワーク

(1) 市民活動支援センター意見交換会

滋賀県内の中間支援センターで働く職員間の研修や情報交換の場として開催されている。県内にある中間支援活動をしている20団体が順番に世話人となり、企画を考えて、その時々のテーマをもとに、研修と情報交換を行っている。

①第1回市民活動支援センター意見交換会

日時：2017年6月20日（火）13:30～16:45

会場：ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター 203会議室

内容：●京都府京都中間支援団体ネットワークとの交流会

コーディネーター：永見まり子さん

（京都府府民力推進課・京都府NPOパートナーシップサポートセンター所属協働コーディネーター）

●滋賀県市民活動支援センター意見交換会

・意見交換会の位置づけについて

・今年度の事業について

②第2回市民活動支援センター意見交換会

日時：2017年9月1日（金）15:00～17:30

会場：えきまちテラス長浜、子育て応援カフェLOCO

内容：長浜の子育て支援団体の活動の事例発表と視察

・各団体の協働の特徴について

・南郷里子育て広場「はぐみんぐ」

・子育て広場「スキップ」

・オレンジスマイル

・子育て応援カフェLOCO（現地視察）

・イングリッシュ・アイランド（現地視察）

③第3回市民活動支援センター意見交換会

日時：2018年3月2日（金）13:30～16:30

会場：野洲市市民活動支援センター

内容：中間支援センターの情報収集と発信について

「協働ネットしが」の利用状況について

NPO法人の貸借対照表と定款変更の準備状況について

3. 運営体制

(1) 総会の開催

日時：2017年5月22日 19:00～20:00

場所：まちづくりネット東近江事務所

参加者：23名

＜議事＞

第1号議案 2016年度事業報告（案）について

第2号議案 2016年度活動決算報告（案）について

第3号議案 定款の変更の件について

第4号議案 役員選任の件について

＜報告＞

2017年度活動計画について

2017年度活動予算について

(2) 運営委員会の開催

年5回の運営委員会を開催し、組織運営に関する協議を行った。

開催日時	協議内容	出席者数
第1回 2017年5月11日(木) 19:00~21:00	事業計画 にじまちサポートーズ 2016年度事業報告 2016年度決算報告 役員と定款の変更	10名 (内事務局4名)
第2回 2017年7月12日(水) 18:30~19:00	2017年度事業計画 法人事務所の登記変更について 借入限度額の承認について	13名 (内事務局4名)
第3回 2017年11月1日(水) 19:00~20:30	事業報告 今後の予定 第一四半期決算報告 補正予算について	10名 (内事務局4名)
第4回 2018年2月5日(水) 19:00~21:00	事業報告 第二四半期決算報告 5周年事業について	8名(内事務局2名)
第5回 2018年3月29日(木) 19:00~21:00	事業報告 第三四半期決算報告 認定NPO法人認証報告 5周年事業について 2018年度事業計画(案) 2018年度予算(案)	11名(内事務局4名)

(3) 事務局会議の開催

事務局会議は、まちづくりネット東近江の事務局と代表・副代表、東近江市役所まちづくり協働課担当者が事業の内容や業務の進捗状況の情報共有と運営上の問題点等を協議する場である。2017年度は5回事務局会議を開催し、協議を行った。

